

役場機構の一部を改革

建設課と企業課が設置される  
初めての女性係長四名誕生

役場では、七月一日付をもつて機構改革と、これに伴う人事異動を行いました。今回の機構改革は、本年度からスタートした第三次総合計画の推進を図るため、企画部門と財政部門の一本化、土地利用や都市計画部門との整合性・企業性の性格のある課の独立ということと、これまでの企画調整課を統廃合し、建設企業課を分離し、それぞれ

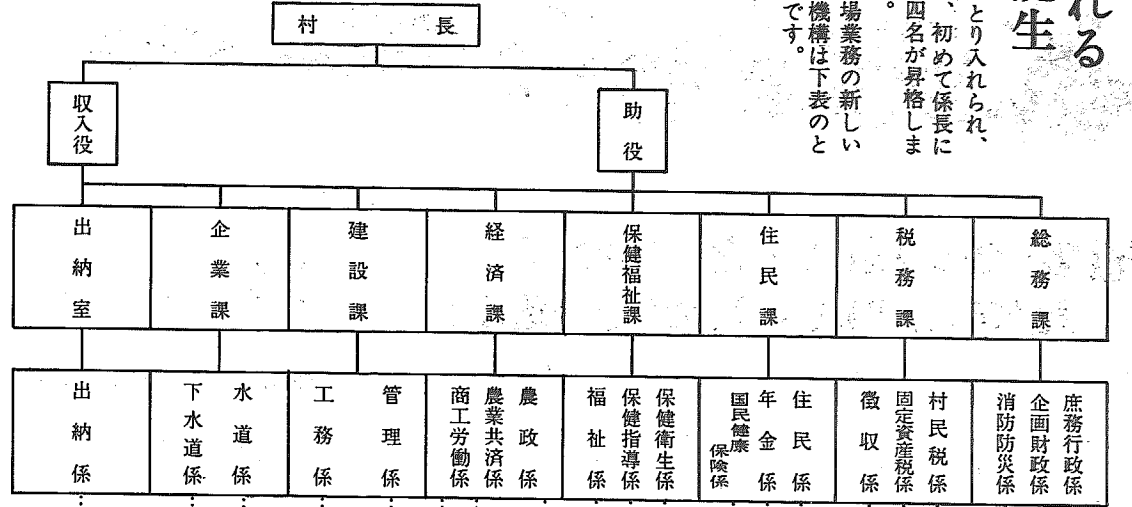
機構改革と人事異動について

横越村長 浅見 良一

この度の機構改革、人事異動は、特に第三次総合計画の推進、工場誘致、都市計画等の土地利用対策、公共下水道等の推進をはかるため、各機能の整合性を図る形で課の統廃合を行ったものであります。今、国も地方も財政難に見舞われ財政改革が至上命題であり、当村は昨年行政改革推進委員会を設置し、鋭意ご審議を願っているところで、一方、部内でも事務改善委員会を設け、事務事業の見直し検討をし、今回の機構改革等

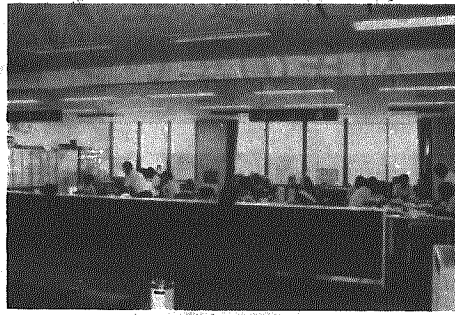
に際しても「行革」の趣旨をも踏まえて行ったものであります。従って定年退職等の欠員補充は極力押え、電話交換業務を委託にする等の措置をとって一般職二名の欠員は、部内調整で補っております。なお、今後とも事務改善にとりくみ、電算化(委託)についても次年度の本格実施を目途に準備を進めており、既に会計業務は今年四月から帳簿方式を伝票方式に改め、事務の効率化を図っているところであります。

建設課と企業課が設置され、制がとり入れられ、また、初めて係長に女性四名が昇格しました。役場業務の新しい組織機構は下表のとおりです。

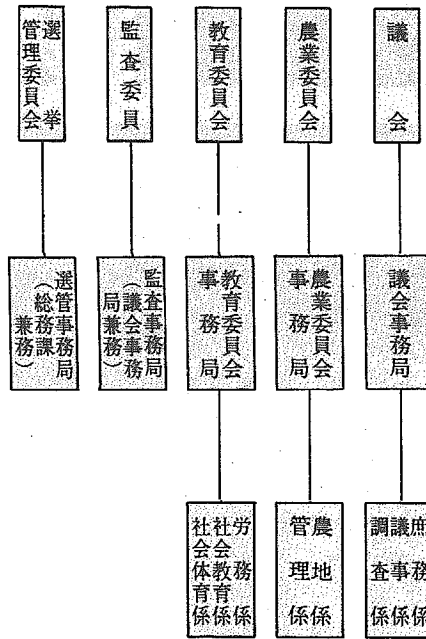


課名 係名 おもな業務内容

Table with 3 columns: 課名 (Department Name), 係名 (Section Name), おもな業務内容 (Main Business Content). Lists departments like 総務課, 税務課, 住民課, etc., and their respective sections and duties.



建設企業課を分離した  
建設課と企業課



公民館小・中学校

新機構による人事

七月一日付、機構改革等による人事異動が行なわれました。異動の内容は、課長等六名(一名昇格)、係長十六名(八名昇格内四名女性)、係職員二十五名、合計四十七名の規模のものとなりました。新機構における課長等及び係長の異動は、次のとおりです。

- 課長等
◎課長等 (一)前職
▽総務課長 中川 国保 (企画調整課長)
▽住民課長 坂井 進 (教委事務局長)
▽経済課長 曾我 進 (建設企業課長)
▽建設課長 石井 八坂 (経済課長)
▽企業課長 坂井 正哉 (昇格、建設企業課係長)
▽教委事務局長 柴沢 文雄 (総務課長)
▽係長
▽総務課 庶務行政兼 係長 横山信夫
▽企画財政係長 小野塚作美 (総務課係長)
▽住民課 係長 加藤 藤雄 (税務課係長)
▽建設課 水道係長 伊藤 謙司 (昇格、建設企業課)
▽水道係長 馬場 貞雄 (教委係長)
▽出納室係長 南場 愛子 (昇格、教)
▽教委事務局係長 泉沢宏一 (企画調整課係長)
▽保健福祉課 係長 星 梅子 (昇格、保健福祉課)
▽住民課 係長 藤田 良三 (住民課係長)
▽国保係長 橋本ナナエ (昇格、総務課)
▽保健福祉課 保健衛生兼 係長 星 梅子 (昇格、保健福祉課)



今年の梅雨は、近年には珍しいじめじめとした連続の毎日であつた。うんざりする日が多かつた。先日、所用があつて友人の家を訪れたが、家が新しいこともめづらして、見るからに涼しそう、この暑い夏の過し方として、すぐクーラー等に頼らず、せめて夏の空間を目で見る感覚で涼さを味わおうとする心づかいには痛く感じさせられた。

涼を楽しむ

知恵を生かしたい

夏涼しければ春や秋は快適であることは請け合いです。その分だけは冬が少し寒いようである。暖房はわが国独特の部分暖房が発達しており、炬燵などは実に合理的な暖房と思ふ。しかし近年は石油やガスなどによる室内暖房やセントラルヒーティングが日常化

される時代になり、炬燵だけで暖房をといはなくなつたが、しかし炬燵を欠くことはできないと思ふ。夏の風通しのよい住い家は、長持ちさせるもので、何時でもカラスとしており、建物は常に乾燥が大切で、家を長

持させる秘訣です。家の構造にあまり暖冷房の断熱だけに頼りすぎるとカビが生え易くなり、又家ダニやゴキブリなどの害虫の巣となり、決して住環境が良いとは褒められたものでない。そうは云つても暑さには根負けして、結局のところクーラーに頼りたくなるのがオチであることは否定できません。涼しさやさわやかさを求めてみたいものです。そこでまずやってみよう。が葎での日除けで、太陽の直射日光をできるだけ柔

- くしてやり、庭には落葉樹で多く作つて、西日の入るような窓には朝顔や糸瓜などで自然の日除けを軒下に昇らせて利用することです。それで足りないところは簾を吊り下げて、少しでも日射しを弱めて、風鈴の一つも加えてやればまた、音による涼しさが加わるものであろうし、夕方には庭や小路などで打ち水することにより、また放熱が促されて一段と涼しさが感じられることであらう。私も早速ですが友人の真似をして、よし戸はまだ求めて無いですから、夏模様の蘭草の上敷を出したり、朝顔の日除の準備をしたり、少し涼を求める工夫をしなければと考えました。(中川)